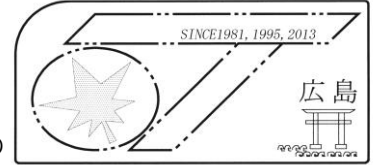


認知症作業療法 活動報告（概要）

広島県作業療法士会では、社会貢献部内に認知症OT推進担当を設けている。認知症OT推進担当部員を中心に認知症生活行為支援指導者研修を運営し人材育成を軸とした「研修」、関係機関からの要請に基づいた会員の紹介などの連携、福祉祭りなどの活動を通じた啓発活動や相談を行う「地域支援」の活動を展開している。



研修

認知症生活行為支援指導者研修基礎課程（テーマA～F）、実践者研修を各1回開催する。研修は下記の運用マニュアル・研修シラバスをもとに運営しており、内容の見直しについても随時実施している。

一般社団法人 広島県作業療法士会認知症生活行為支援指導者研修制度運用マニュアル・研修シラバス 第2版

<http://hiroshima-ota.kir.jp/wp-test/wp-content/uploads/2020/03/97352d2b4ea847058b104a87acd372cb-1.pdf>



人材育成状況（2022年度末）

会員数 1578名
(令和5年8月20日現在)

認知症生活行為支援指導者 20名
認知症生活行為支援実践者 42名
基礎課程修了者 322名

認知症生活行為支援指導者認定

以下のいずれかの実施により指導者認定をおこなう

- ① 1例以上の実践報告
- ② 県士会より募集する社会活動※2での2年以上の継続した実践
- ③ 県士会の依頼による講師等による実践
- ④ 職場等における社会活動による実践※3

※3職場等における社会活動とは地域住民や他職種へ向けた講演、認知症カフェなどへの参画等

※3実施内容を県士会に報告が必要

認知症生活行為支援指導者研修実践者研修修了

- 実践者研修3 実践報告もしくは県士会より募集する社会活動※2
実践者研修2 県士会の依頼による講師等での実践
実践者研修1 実習（職場等での実践）
実践者研修1 県士会の取り組み※1

※2県士会より募集する社会活動とは認知症の人と家族の会、認知症カフェ等

※1実践者研修1は基礎課程修了前より受講可

認知症生活行為支援指導者研修基礎課程修了

認知症生活行為支援指導者研修基礎課程（A～F）受講

認知症生活行為支援指導者 養成研修 構造図 2022

一般社団法人
広島県作業療法士会

地域支援

- ・ 関係機関からの要請に応じた会員の紹介等、情報の提供や共有
- ・ 若年性認知症支援ネットワーク会議委員への会員派遣
- ・ 行政機関との連携による認知症カフェの運営への会員の派遣
→ 計10回述べ14名の派遣

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会広島支部の若年性認知症のつどい「陽溜まりの会」への会員の派遣を中心に連携を行っている。2022年度は県内3か所の「陽溜まりの会」へ計19回延べ24名の派遣を行った。2023年度も継続して会員の派遣を行っている。

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

認知症カフェ等地域での活動においてコロナ禍前とほぼ同じ状態に活動が再開されており、会員の派遣もコロナ禍前の状況と同様に行うことが出来ている。
研修事業についてはハイブリッド研修へと移行する準備を行っている。